

(別紙4(2))

### 目標達成計画

事業所名 グループホーム みどり荘

作成日：平成 29年 11月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話合います。

目標が一つもなかったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の見直し・共有	常にスタッフ間で話し合いを持ち 意味を理解しケアに繋げる	ミーティングで理念について話し合い、必要ならば見直しも行う。理念を理解し実践することで 同じ方向を目指し、質の高いサービスに繋げ	1ヶ月
2	6(5)	身体拘束の理解	身体拘束をしないケアについて検討する 機会をつくる	ミーティングの際に身体拘束について検討する機会を あえてつくることで、なぜ拘束してはいけないかを 初心に戻って再確認をする。	3ヶ月
3	36(14)	プライバシーの保護	プライバシーといった事をもう一度振り返り (アコーディオンカーテンの使用方法)	プライバシーの保護について ミーティングでトイレでのアコーディオンカーテン の使用方法を今一度話し合う	1ヶ月
4	23(9) 26(10)	ケアプランとモニタリングの一致 記録の工夫が必要	ケアプランとモニタリングの一致 思いや意向を考慮する1人1人のアセス メント	個別のニーズを掘り下げ 個々の思いを反映 きるプラン作りを行う。ケアプランに沿った介護 提供できるように 掲示方法を見直す。	1年